

テレビのIoT化とオーディエンスデータ連携による 地域経済活性化実証プロジェクト



2016/06/28

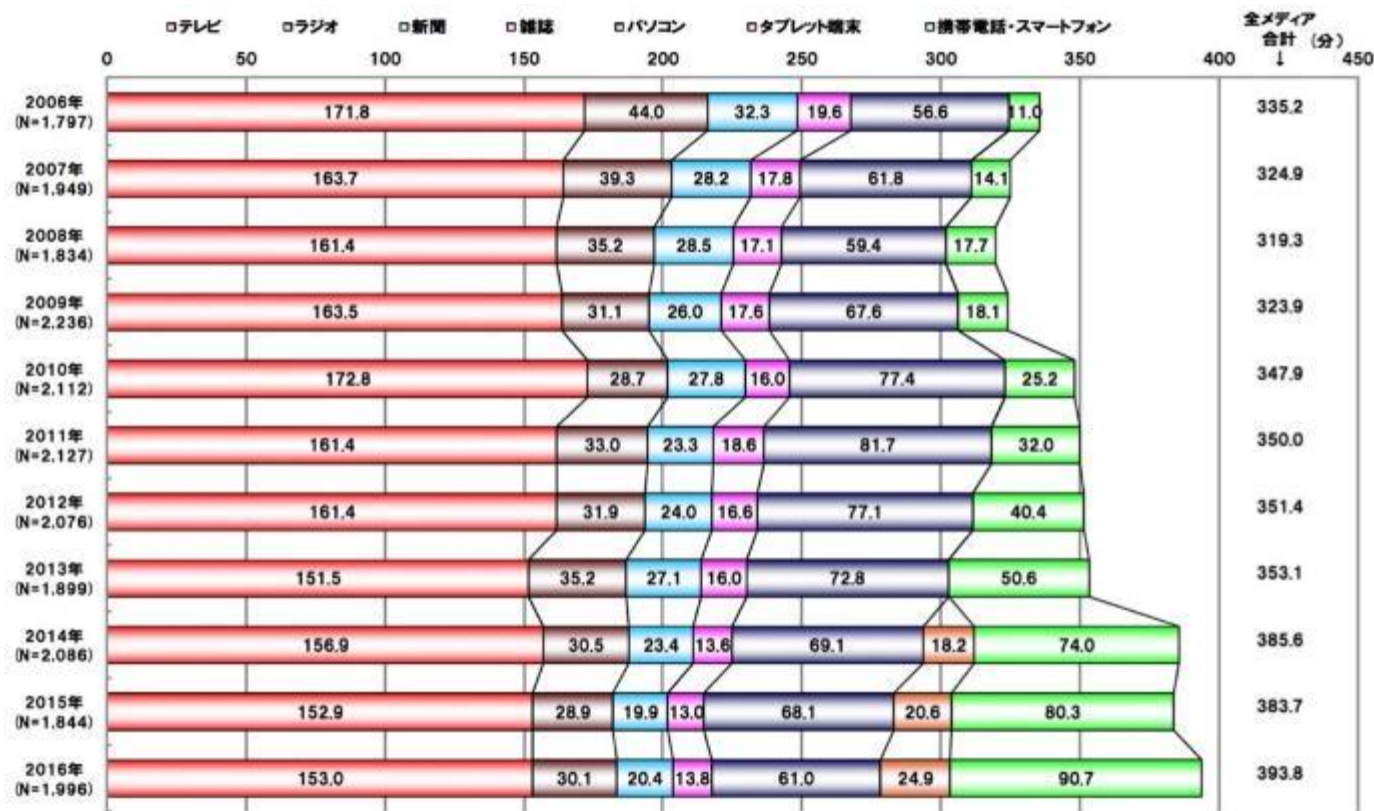
事業名	テレビのIoT化とオーディエンスデータ連携による 地域経済活性化実証プロジェクト
代表団体名	株式会社HAROiD 代表取締役社長 安藤 聖泰 設立 2015年4月 所在地 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター スタッフ数 34名（2016年6月現在） テレビをインターネットの力で 大幅にアップグレードさせる ミッション
共同提案 団体名	一般社団法人IPTVフォーラム、株式会社静岡第一テレビ、 日本テレビ放送網株式会社、株式会社電通、株式会社三菱総合研究所
対象分野	工. 放送
実施地域	静岡県及び関東
規格化検討	IPTVフォーラム (放送事業者、通信事業者、受像機メーカー等様々なステークホルダが参加)

最大接触メディア「テレビ」のIoT化が生み出す可能性

2



メディア総接触時間の時系列推移(1日あたり・週平均):東京地区



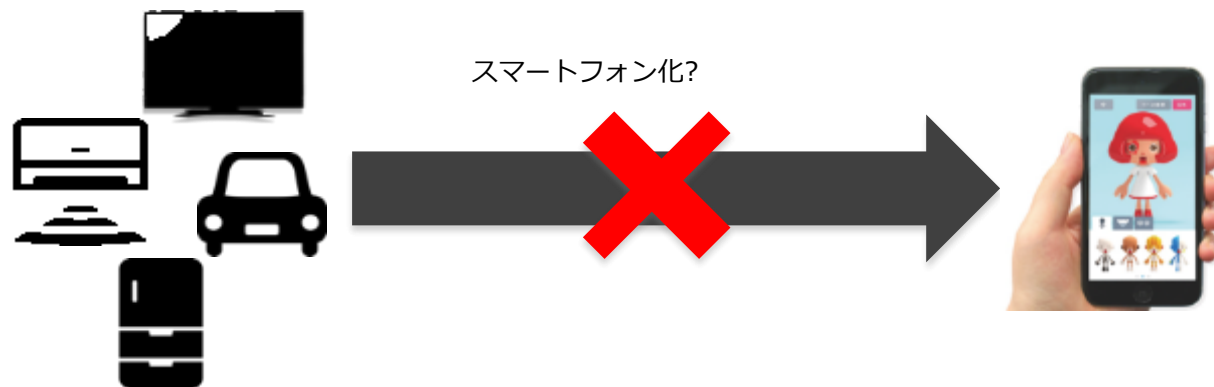
博報堂DYメディアパートナーズ「メディア定点調査2016」より引用

我が国においてテレビは、スマートフォン全盛の現在においても、それを上回る最大接触メディアです。

テレビのIoT化により、生まれるデータは、膨大で活用範囲は広く、経済効果の規模も大きくなるものといえます。

IoTとは、そのデバイス単体がインターネット接続されてスマートフォンのような情報端末化することではない。

本来ネットにつながる必要がなかったが、生活に密着したデバイスが、インターネットに接続されることで、そのデバイスが持つさまざまなデータをインターネット経由で収集・解析し、様々なモノやサービスと繋げることで、データのやり取りが行われ、私たちの生活や地域に対して大きな価値をもたらすことである。



IoT化とは機器がスマートフォン化することでは無い

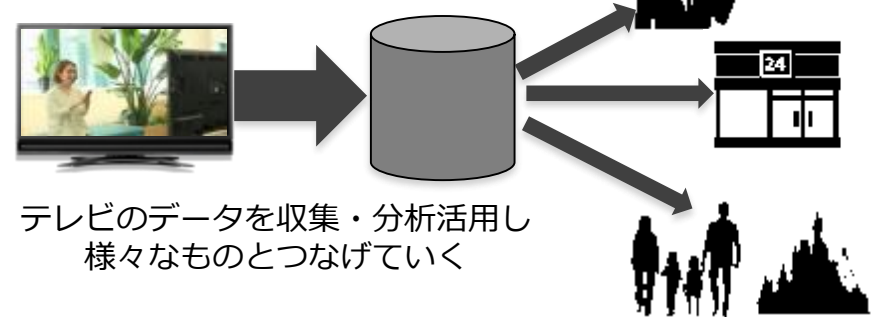
正直リモコンは操作しにくい
一方で最低限の操作で多くの情報を得るのがテレビ。



従って、テレビのIoT化とは、テレビがスマートフォンのようにインターネット経由で様々なリモコン操作でリッチな情報を得たり、発信したりということでは無い。



テレビのIoT化は
テレビがスマートフォン化することでは無い



テレビのデータを収集・分析活用し
様々なものとつなげていく

テレビは、最大の認知メディアであり、そこで認知した内容により、消費行動などに大きな影響を与える。

つまり視聴に関する様々なデータをインターネット経由で収集・解析し、日常生活や地域とつなげ、生活や地域に大きな価値をもたらすことである。

テレビはネットにつながる必要がなかった

5

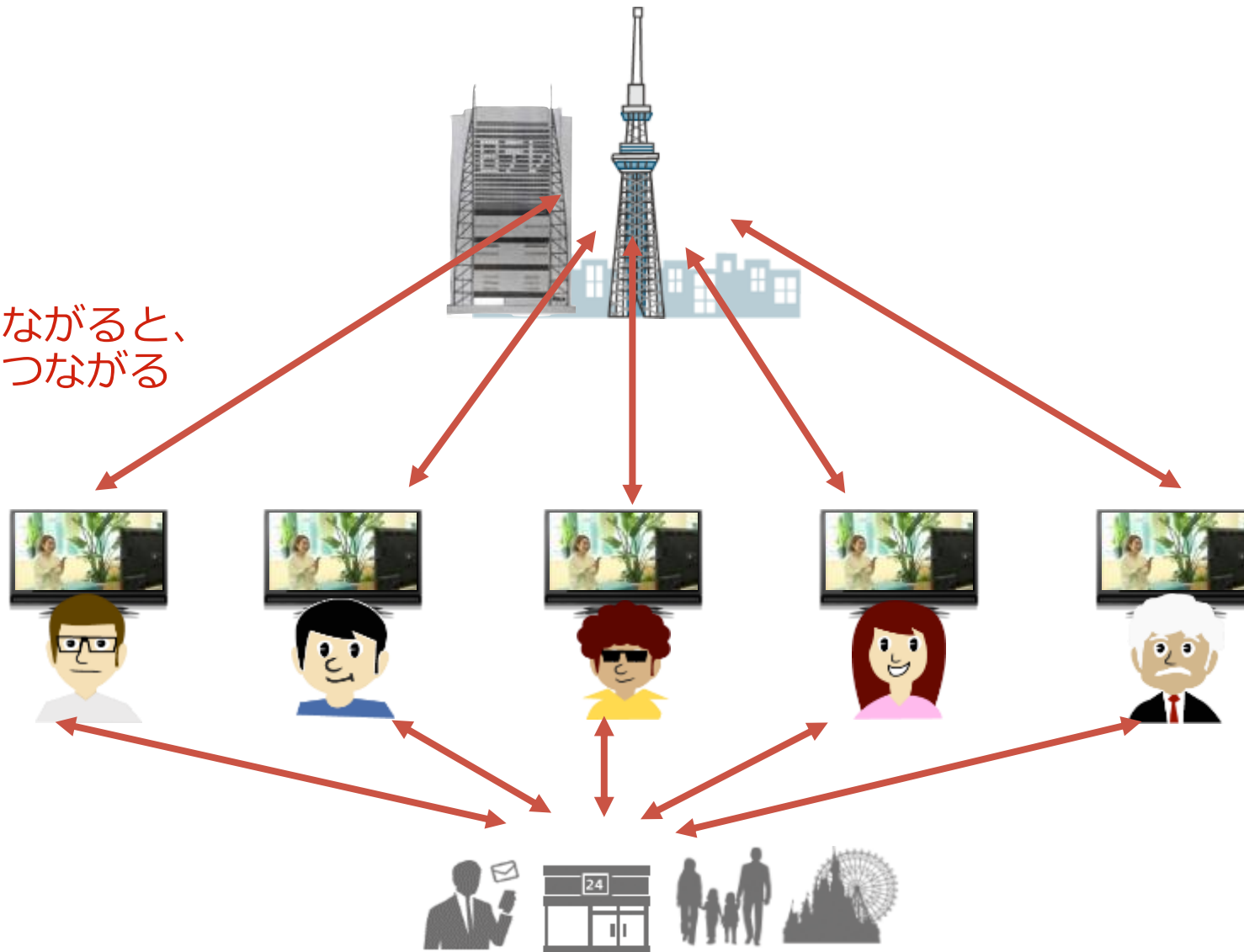
一方向



「テレビのIoT化」はテレビの情報端末化を目指すものではない

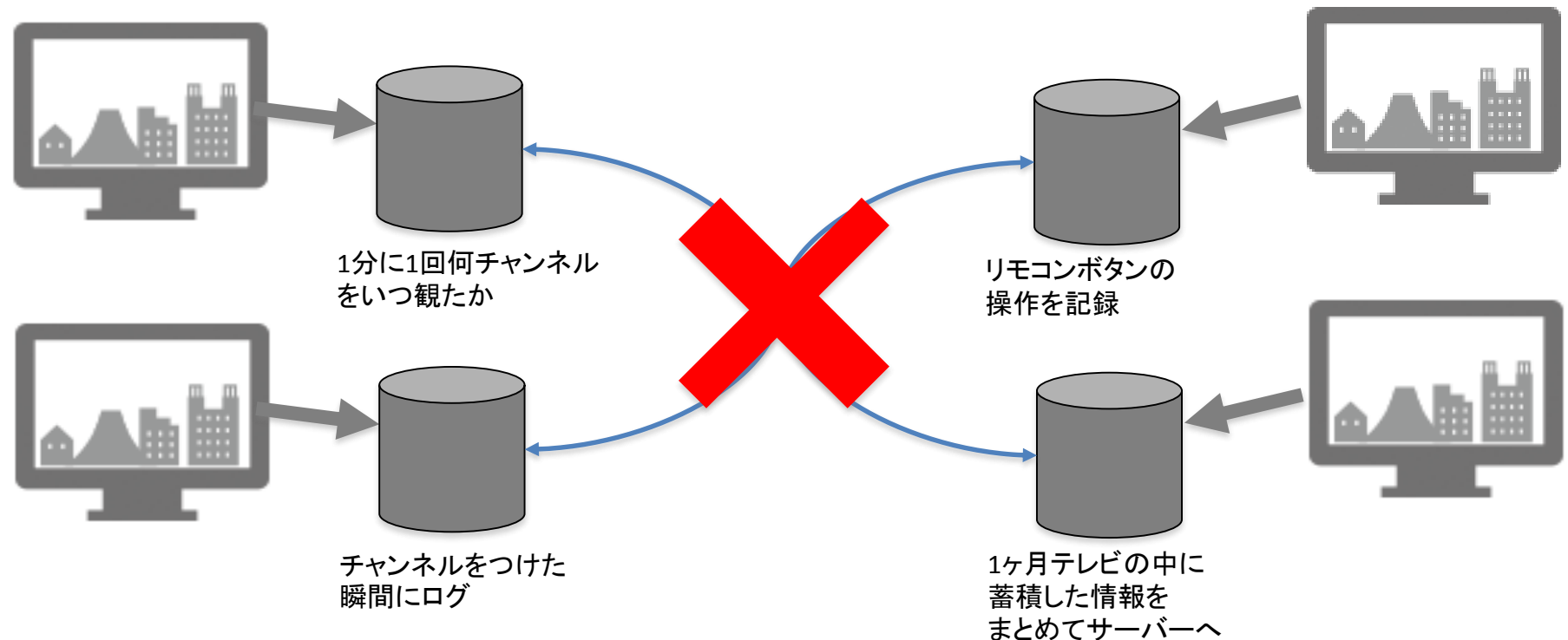
6

ネットにつながると、
その先ともつながる



テレビにまつわるデータはバラバラ

既に一部の受像機メーカーや放送事業者は、視聴ログを収集・分析・利活用しておりますが、その方法等が個々に異なっているのが現状です。
そのため相互流通性等がなく、新たなサービス／ビジネスを構築しようとした時の障壁となっています。



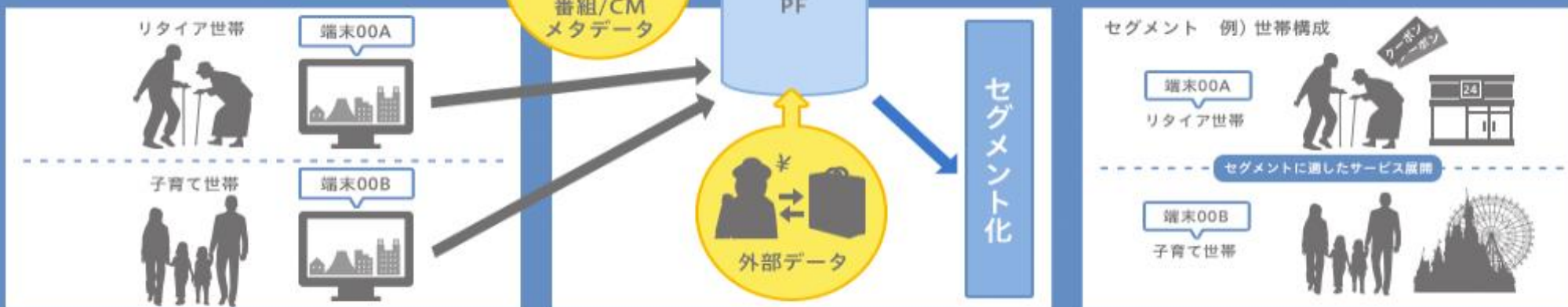
明確な利活用のリファレンスモデルを示すことで、ログの取り方、利用者への許諾の取り方などが明確になる。

テレビ視聴

データ分析

活用

ユーザー毎へのサービス提供



テレビ端末単位のサービス提供

1. 視聴ログ取得に対して、新たな大規模投資が必要ない

- ・ 1億台普及しているテレビをインターネット接続するだけでIoTに対応できる。
- ・ ユーザー起点型の視聴ログの取得については、既に運用中のHAROiDプラットフォームを活用できる。総務省の実証実験や日本テレビ以外でのビジネス展開の実績も多数ある。

※実証実験としては以下

2013年度ICT街づくり推進事業 「放送と通信の融合による、地域力・地域連携を活かした災害に強い徳島プロジェクト」

2014年度ICT街づくり推進事業 「放送・ID融合サービスプラットフォームの構築及び実証」

2. 視聴ログのデータ・マネージメントの標準化による横展開

- ・ 今回、共同提案者としてIPTV-Fと連携することにより、収集された「ユーザー起点型」「端末起点型」の視聴ログのデータ・マネージメントの標準化を図る。
- ・ これにより、他地域への横展開などを推進することができる。

3. ローカル局による地域の活性化

- ・ 地元経済と密着したローカル局を活用することにより、通常の放送局のスポンサー以外とも連携した地域の活性化を図る。